



平成28年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年9月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社OSGコーポレーション

コード番号 6757 URL <http://www.osg-nandemonet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 溝端 雅敏

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理担当取締役

(氏名) 藤沢 和一

TEL 06-6357-0101

四半期報告書提出予定日 平成27年9月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第2四半期の連結業績(平成27年2月1日～平成27年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第2四半期	3,091	9.4	281	24.3	284	26.4	150	54.8
27年1月期第2四半期	2,825	2.5	226	12.0	225	12.0	96	△8.3

(注) 包括利益 28年1月期第2四半期 180百万円 (97.1%) 27年1月期第2四半期 91百万円 (△27.5%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年1月期第2四半期	33.34	—	—	—
27年1月期第2四半期	21.54	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
28年1月期第2四半期	4,330	2,344	52.3	503.40				
27年1月期	4,055	2,254	53.9	485.37				

(参考) 自己資本 28年1月期第2四半期 2,265百万円 27年1月期 2,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年1月期	—	0.00	—	—	—
28年1月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年1月期の配当金の内訳は、普通配当20円00銭、創立45周年記念配当5円00銭となっております。

3. 平成28年1月期の連結業績予想(平成27年2月1日～平成28年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	4.7	500	39.3	500	43.9	250	46.8	55.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年1月期2Q	5,000,000 株	27年1月期	5,000,000 株
② 期末自己株式数	28年1月期2Q	500,261 株	27年1月期	500,261 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年1月期2Q	4,499,739 株	27年1月期2Q	4,499,785 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況により異なる結果となる場合がありますのでご承知おさください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（平成27年2月1日～平成27年7月31日）におけるわが国の経済状況は、政府の景気対策や日銀による金融緩和策の効果もあり、雇用環境や一部の企業収益に改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調にあるものの、新興国経済の減速や欧州債務問題の再燃など海外経済の下振れ懸念もあり、先行きが不透明な状況が続いております。

また、今年も猛暑により日本全国で熱中症患者が続出いたしました。環境省はこれを予防する目的で「熱中症予防声かけプロジェクト」を立ち上げて啓蒙活動を展開しております。当社グループもこの賛同企業となり、全国的に熱中症予防啓蒙運動の展開を行ってまいりました。

このような経済情勢及び環境のもと、当社グループとしましては、浄水器・アルカリイオン整水器の家庭用から業務用、産業用に至るまでの製品の営業活動を積極的に展開してまいりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

水関連機器事業におきましては、ウォータードリンクビジネスに関して、家庭用、業務用製品の販売が順調に推移いたしました。特に家庭用については販売店の獲得が増加したことにより、業績向上に寄与いたしました。また、ウォータークーラー市場に関しても駅や空港、学校・スポーツ施設等をはじめとした公共施設への導入に注力した結果、自治体等における導入への意識も高まってまいりました。今後も、2020年の東京五輪開催によるインフラ整備等の公共事業の進行に伴い、さらに市場は拡大できるものと見込んでおります。衛生管理機器ビジネスに関しては、従来の食品・飲料メーカーや医療関係などの市場に加えて、国立研究機関や動物実験施設への衛生管理システムの導入など、市場の開拓・拡大を図ってまいりました。以上のことにより、水関連機器事業は、売上高1,522,634千円（前年同四半期比19.2%増）、営業利益158,426千円（同36.7%増）となりました。

メンテナンス事業におきましては、家庭用・業務用・産業用全ての製品のユーザーからの信頼を高められるようCS活動を展開したことにより、予定通りに推移し、売上高873,259千円（同1.5%増）、営業利益156,426千円（同0.0%増）となりました。

HOD（水宅配）事業におきましては、加盟店の獲得が順調に推移すると同時にユーザーへの熱中症対策水としての水分補給の啓蒙活動を展開し、ボトルドウォーターの販売も好調に推移したことにより、売上高512,595千円（同3.9%増）となりました。営業利益は前期に商品の一部評価損がありましたが、当期はその影響が無くなったことにより36,728千円（同6433.0%増）となりました。

以上のような状況で推移した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,091,544千円（同9.4%増）、営業利益は281,193千円（同24.3%増）、経常利益284,292千円（同26.4%増）、四半期純利益150,018千円（同54.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,736,193千円となり、前連結会計年度末に比べ295,922千円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が251,988千円、現金及び預金が57,266千円増加したことによるものであります。固定資産は1,594,157千円となり、前連結会計年度末に比べ20,878千円減少いたしました。これは主に有形固定資産が12,093千円、投資その他の資産が9,708千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,330,350千円となり、前連結会計年度末に比べ275,043千円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,424,630千円となり、前連結会計年度末に比べ281,959千円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が139,694千円、短期借入金が130,000千円増加したことによるものであります。固定負債は560,867千円となり、前連結会計年度末に比べ97,560千円減少いたしました。これは主に長期借入金が71,640千円、社債が20,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,985,497千円となり、前連結会計年度末に比べ184,398千円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,344,853千円となり、前連結会計年度末に比べ90,644千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が60,023千円、為替換算調整勘定が20,077千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は52.3%（前連結会計年度末は53.9%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、316,206千円となり、前連結会計年度末と比較して8,413千円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は134,690千円の収入（前年同期は66,000千円の収入）となりました。主な要因は、売上債権の増加額251,300千円がありましたが、税金等調整前四半期純利益271,872千円、減価償却費41,389千円、仕入債務の増額138,382千円等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は86,642千円の支出（前年同期は1,311千円の支出）となりました。主な要因は、定期預金の増加額65,960千円、有形固定資産の取得による支出11,136千円、無形固定資産の取得による支出11,545千円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は66,913千円の支出（前年同期は140,810千円の支出）となりました。主な要因は短期借入金の増加額130,000千円による収入がありましたが、配当金の支払額90,142千円、長期借入金の返済による支出74,659千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年3月13日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成27年法律第9号）が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、平成29年1月期に解消が見込まれる繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の35.6%から33.1%に、平成30年1月期以降に解消が見込まれる繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の35.6%から32.1%に変更されます。

この税率変更により、流動資産の繰延税金資産の金額が509千円減少し、固定資産の繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）が4,738千円、法人税等調整額が5,368千円減少し、その他有価証券評価差額金が120千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	779,842	837,109
受取手形及び売掛金	1,019,970	1,271,958
商品及び製品	269,736	260,760
原材料及び貯蔵品	289,722	285,725
繰延税金資産	34,726	43,685
その他	50,102	41,602
貸倒引当金	△3,829	△4,648
流動資産合計	2,440,271	2,736,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,192,916	1,186,710
減価償却累計額	△907,093	△919,872
建物及び構築物（純額）	285,822	266,838
機械装置及び運搬具	228,625	225,053
減価償却累計額	△193,890	△196,527
機械装置及び運搬具（純額）	34,735	28,525
土地	723,955	723,955
その他	577,046	603,535
減価償却累計額	△526,777	△540,164
その他（純額）	50,269	63,370
有形固定資産合計	1,094,782	1,082,689
無形固定資産		
ソフトウェア	42,146	53,514
その他	42,909	32,465
無形固定資産合計	85,056	85,979
投資その他の資産		
投資有価証券	38,297	37,917
長期預金	-	7,000
長期貸付金	36,196	33,767
繰延税金資産	77,656	56,545
保険積立金	211,820	220,855
その他	124,908	123,850
貸倒引当金	△53,682	△54,448
投資その他の資産合計	435,197	425,488
固定資産合計	1,615,035	1,594,157
資産合計	4,055,306	4,330,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	297,239	436,933
短期借入金	170,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	144,320	141,821
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
リース債務	26,368	27,336
未払法人税等	78,641	98,012
賞与引当金	32,101	37,395
返品調整引当金	16,042	35,588
その他	337,957	307,542
流動負債合計	1,142,671	1,424,630
固定負債		
社債	20,000	-
長期借入金	216,349	144,709
リース債務	58,721	63,818
役員退職慰労引当金	125,658	125,783
退職給付に係る負債	154,825	150,563
資産除去債務	14,691	14,851
その他	68,182	61,142
固定負債合計	658,427	560,867
負債合計	1,801,098	1,985,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,000	601,000
資本剰余金	690,401	690,401
利益剰余金	1,008,113	1,068,136
自己株式	△195,600	△195,600
株主資本合計	2,103,914	2,163,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,416	3,417
為替換算調整勘定	77,716	97,794
その他の包括利益累計額合計	80,132	101,212
少数株主持分	70,160	79,702
純資産合計	2,254,208	2,344,853
負債純資産合計	4,055,306	4,330,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)
売上高	2,825,923	3,091,544
売上原価	1,053,042	1,155,813
売上総利益	1,772,880	1,935,730
販売費及び一般管理費	1,546,658	1,654,536
営業利益	226,222	281,193
営業外収益		
受取利息	4,378	5,182
受取配当金	144	166
その他	4,001	5,152
営業外収益合計	8,523	10,500
営業外費用		
支払利息	4,748	4,168
持分法による投資損失	1,125	-
為替差損	752	916
その他	3,117	2,316
営業外費用合計	9,743	7,401
経常利益	225,002	284,292
特別損失		
減損損失	-	10,720
投資有価証券評価損	8,700	1,700
特別損失合計	8,700	12,420
税金等調整前四半期純利益	216,302	271,872
法人税、住民税及び事業税	86,583	100,560
法人税等調整額	31,959	11,751
法人税等合計	118,542	112,312
少数株主損益調整前四半期純利益	97,760	159,560
少数株主利益	831	9,541
四半期純利益	96,928	150,018

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	97,760	159,560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	835	1,001
為替換算調整勘定	△6,913	20,077
持分法適用会社に対する持分相当額	△39	-
その他の包括利益合計	△6,117	21,079
四半期包括利益	91,642	180,639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,810	171,098
少数株主に係る四半期包括利益	831	9,541

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年2月1日 至 平成27年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	216,302	271,872
減価償却費	32,889	41,389
減損損失	—	10,720
のれん償却額	1,569	1,850
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,464	△4,948
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△3,674	19,545
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,380	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△4,262
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,175	△333
受取利息及び受取配当金	△4,522	△5,348
支払利息	4,748	4,168
為替差損益 (△は益)	214	681
投資有価証券評価損益 (△は益)	8,700	1,700
持分法による投資損益 (△は益)	1,125	△11
売上債権の増減額 (△は増加)	△218,670	△251,300
たな卸資産の増減額 (△は増加)	66,952	16,744
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,769	138,382
その他	61,936	△28,197
小計	164,059	212,652
利息及び配当金の受取額	1,784	5,349
利息の支払額	△4,835	△4,485
法人税等の支払額	△95,006	△78,825
営業活動によるキャッシュ・フロー	66,000	134,690
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△1,100	△65,960
有形固定資産の取得による支出	△4,121	△11,136
無形固定資産の取得による支出	—	△11,545
関係会社貸付けによる支出	△2,290	—
関係会社貸付金の回収による収入	5,600	1,400
貸付金の回収による収入	600	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,311	△86,642

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年2月1日 至 平成27年7月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	20,000	130,000
長期借入れによる収入	25,000	—
長期借入金の返済による支出	△67,990	△74,659
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
配当金の支払額	△89,347	△90,142
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,473	△12,112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140,810	△66,913
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,575	10,451
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△82,696	△8,413
現金及び現金同等物の期首残高	312,182	324,619
現金及び現金同等物の四半期末残高	229,485	316,206

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水関連機 器事業	メンテナ ンス事業	HOD (水宅配) 事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,276,893	859,993	493,345	195,692	2,825,923	—	2,825,923
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,276,893	859,993	493,345	195,692	2,825,923	—	2,825,923
セグメント利益	115,871	156,377	562	36,763	309,573	△83,351	226,222

(注)1 セグメント利益の調整額△83,351千円は、主に提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年2月1日至平成27年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水関連機 器事業	メンテナ ンス事業	HOD (水宅配) 事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,522,634	873,259	512,595	183,055	3,091,544	—	3,091,544
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,522,634	873,259	512,595	183,055	3,091,544	—	3,091,544
セグメント利益	158,426	156,426	36,728	25,642	377,223	△96,030	281,193

(注)1 セグメント利益の調整額△96,030千円は、主に提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「HOD(水宅配)事業」セグメントにおいて、当グループが保有している固定資産の一部について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては10,720千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。